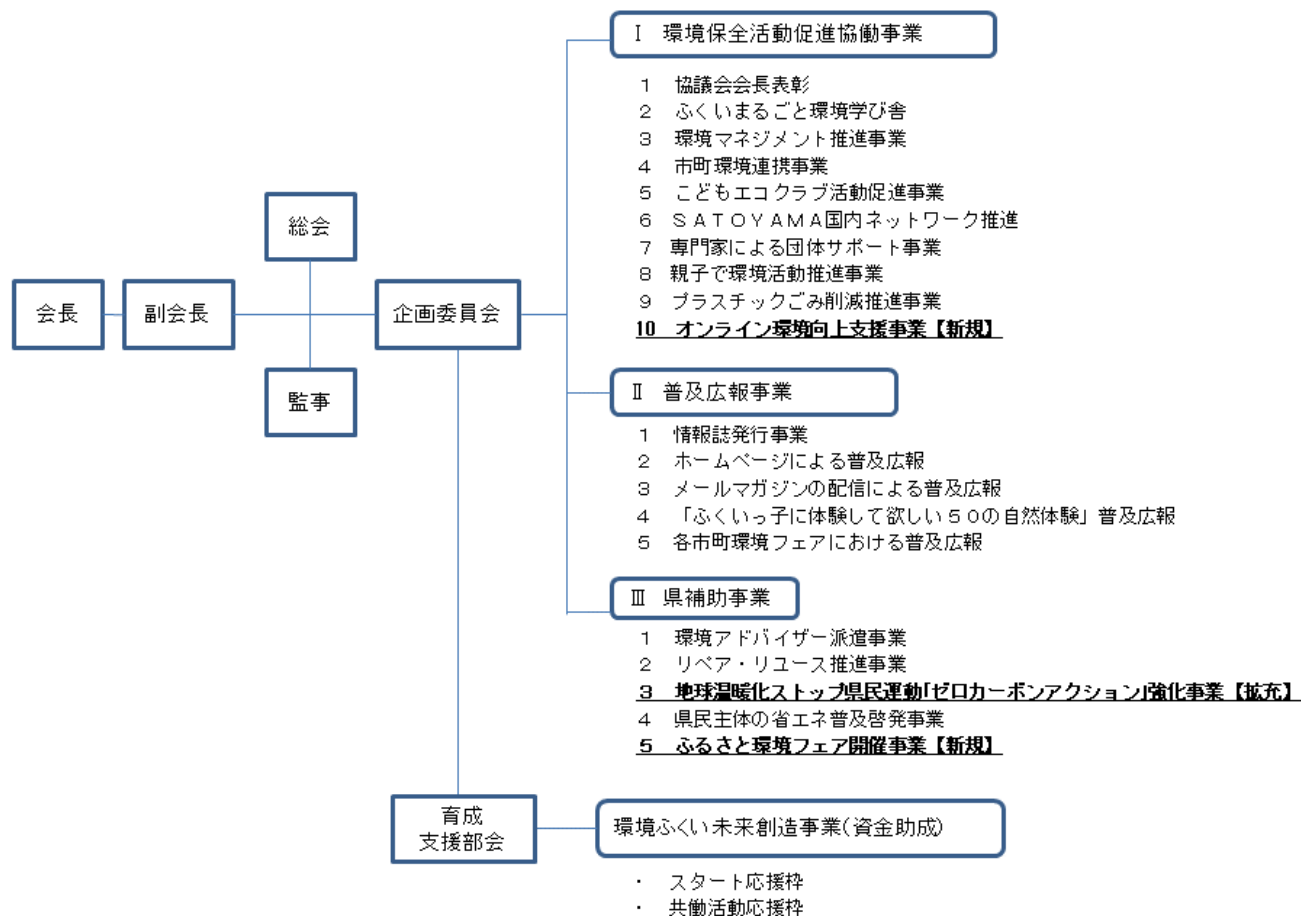


令和3年度 事業計画

環境ふくい推進協議会事業体系図



I 環境保全活動促進協働事業

1 協議会会長表彰

200 千円



〔内容〕 環境保全活動のより一層の推進を図るため、地道に環境保全活動に努められた団体等について総会時に表彰を行う。

2 ふくいまるごと環境学び舎

900 千円



〔内容〕 より質の高く、効果の高い環境活動を行うため、SNSの活用等について学ぶセミナー等を開催する。

3 環境マネジメント推進事業

300 千円

[500 千円]



〔内容〕 主に事業所の環境管理者等を対象に、先進事例に関する基調講演および実践事例発表をオンラインで実施する。

4 市町環境連携事業

900 千円



[内容] 市町および市町の推薦する民間団体が企画する事業に対しその一部を助成することにより、県内一円の環境保全活動の活性化を図る。

○助成要件

- ・環境保全に貢献する事業または県民の環境意識向上に寄与する事業
- ・事業費が5万円超
- ・各市町1件の枠

○助成額

- ・福井市：10万円
- ・その他の市町：5万円／件

5 こどもエコクラブ活動促進事業

100 千円



[内容] こどもエコクラブへの登録を呼びかけるとともに、活動しているクラブへの支援を行い活動の活性化を図る。

○助成内容 壁新聞作成および活動に係る経費の支援

○助成額 1万円／クラブ 10クラブ

6 SATOYAMA国内ネットワーク推進

100 千円



[内容] 本県の里山里海湖における生物多様性の保全や利活用の活動を国内のネットワークを通じて県外へアピールする。

7 専門家による団体サポート事業

1,000 千円

[600 千円]



[内容] 団体の活動内容向上のため、必要とする専門家を協議会が派遣し、一定期間、活動をサポートする。

○専門家の分野 司法書士、行政書士、中小企業診断士、マネジメント、ICT等

○派遣回数 最大5回（派遣にかかる謝金は環境ふくい推進協議会が負担）

8 親子で環境活動推進事業

400 千円

[600 千円]



[内容] 小学生の親子を対象に、『50の自然体験』に関連する自然体験イベントを実施する。

9 プラスチックごみ削減推進事業

150 千円

[300 千円]



[内容] 近年大きな問題となっているプラスチックごみの削減のため、身近にできる取り組み事例の情報提供などを行うオンラインセミナーを開催する。

10 オンライン環境向上支援事業【新規】

1,000 千円

[—]



〔内容〕 団体の「新しい生活様式」に対応した活動を支援するため、オンライン環境の向上に対する助成を実施。助成団体からは、活動の様子等の動画を協議会に提供してもらい、協議会からもフェイスブックページ等で発信。

- 助成対象 団体会員、企業会員
- 助成内容 オンライン活動に要する機器等の購入・レンタル費用への助成
- 助成率 購入費用の場合 1/2、レンタル費用の場合 全額(上限10万円)

II 普及広報事業

2,660 千円

[2,110 千円]



1 情報誌発行事業

〔内容〕 環境問題や環境教育に関する情報、事業者やボランティア団体等が行う環境保全活動などを紹介する情報誌を発行する。

発行回数 1回

発行部数 3,000部

配布先 協議会会員、小・中・高等学校、図書館、公民館等

2 ホームページ等による普及広報

〔内容〕 ホームページやFacebookを活用し、お知らせやイベント情報を積極的に発信していく。また、会員の活動動画等をフェイスブックページやYouTubeチャンネル等で発信する。

3 メールマガジンの配信による普及広報

〔内容〕 メールマガジンにより、幅広く環境保全活動情報の提供を行う。

4 「ふくいっ子に体験して欲しい50の自然体験」普及広報

〔内容〕 県・教育委員会と連携し、ふくい子どもたちに体験させたい50の自然体験項目についてのガイドブックのさらなる普及を図る。また、地球温暖化や「ゼロカーボン」等、最新の話題にも対応した内容に改定する。

発行部数 7,000部

配布先 小学校、環境フェア等

5 各市町環境フェアにおける普及広報

〔内容〕 県内で開催される各市町の環境フェアにブース等を出展し、環境について県民に考えてもらう機会を提供する。また、環境ふくい推進協議会の周知を図り、ふるさと環境フェアへ向けた機運を盛り上げる。

Ⅲ 県補助事業

1 環境アドバイザー派遣事業

1,196 千円



〔内容〕 事業者、団体、学校、自治会等が開催する研修会へ講師（環境アドバイザー）を派遣する。

2 リペア・リユース推進事業

694 千円

[1,027 千円]



〔内容〕 壊れたものを修理して使う、いらなくなったものをほしい人に譲るなど、修理する文化、リサイクル文化の定着を目指した取組みを実施する。

- (1) 古本市、おもちゃの病院、おもちゃドクター養成講座、洋服・ぬいぐるみお直し隊養成講座などの開催
- (2) 自主的なリユース行事を開催する団体の支援

3 地球温暖化ストップ県民運動「ゼロカーボンアクション」強化事業【拡充】

16,923 千円

[19,686 千円]



〔内容〕 地球温暖化ストップ県民運動「LOVE・アース・ふくい」をさらに推進し、節電などを実践するゼロカーボンアクションの輪を広げる。

- (1) 統一行動日(エコチャレふくいの日)を設定し、地球温暖化防止活動を推進
家庭の日(毎月第3日曜日)を統一行動日に設定し、季節ごとのテーマに沿ったエコな取り組みを多くの県民の参加を得ながら実施する。
- (2) クール(ウォーム)シェアの実施
夏(冬)に涼しい(暖かい)場所を提供するシェアスポットで滞在した県民に対し、QRコードを活用したスタンプラリーを実施
- (3) 省エネ家電・住宅設備買替キャンペーン事業の実施
省エネ性能の高い家電(3つ星以上)への買替や、窓の断熱改修を呼びかけることにより、家庭の消費電力抑制を促す取組みを推進する。
- (4) ZEH(ネット・ゼロ・エネルギーハウス)の普及啓発
住宅展示場でZEH普及イベントと宿泊体験などを実施し、ZEHのメリットを周知する。

4 県民主体の省エネ普及啓発事業

674 千円

[984 千円]



〔内容〕 若者・主婦(夫)を中心とした、省エネについて普及啓発活動を行う省エネ活動推進グループの自主的な活動を支援。令和2年度に開発したカードゲームを、各大学等で普及する。また、若者の視点やアイデアを生かした省エネ対策を支援し、SNS等で発信する。

5 ふるさと環境フェア開催事業【新規】

5,599 千円

[—]



〔内容〕 県民への自然環境問題や地球温暖化防止対策の周知、循環社会の形成意識の醸成、生物多様性保全意識の定着のため、イベントを通じた環境学習の場として環境フェアを開催する。

IV 環境ふくい未来創造事業

〔特別会計〕 5,895 千円



〔内容〕 県民・事業者等から提供された資金により、福井県環境基本計画を推進する活動を行う団体へ助成する。

○スタート応援枠

- ・助成対象 団体を立ち上げてから5年未満の団体、もしくは、新しく事業を立ち上げる団体
- ・助成額 上限10万円／年（最長3年まで助成）

○共働活動応援枠（助成額上限30万円、最長2年）

- ・助成対象 新たに他団体または企業と共働して活動する団体もしくは企業
- ・助成額 上限30万円／年（最長2年まで助成）

V 会議等

下記のとおり会議を開催する。

1 総会

内 容 : 令和2年度事業報告および収支決算報告について
令和3年度事業計画（案）および収支予算（案）について

2 企画委員会（4回程度開催予定）

3 育成支援部会（2回程度開催予定）